

令和7年度 第2学年 学級経営案

男 11人 女 8人 合計 19人 担任 伊賀上 萌

学校教育目標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前っ子 5つのすがた 「あいうえお」
あ 明るいあいさつ、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもくそうじ
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学級目標

- 思いやりの心をもち、相手の立場に立って考えることができる児童
- 話をしっかり聞き、よく考え、粘り強く課題に取り組む児童
- 仲間と協力しながら、何事にも一生懸命取り組む児童

具体的な取組

評価

I II III

目指す児童像	かしこな学力	1 時間前着席、姿勢、机上の整理等を繰り返し指導し、児童が集中し、落ち着いた状態で学習に取り組むことができるようとする。 2 目、耳、心で話を聞くよう声掛けをし、児童の「聞く力」を高める。 3 家庭学習の習慣化を図り、児童の基礎学力の定着を図る。 4 話し合い活動を取り入れ、自分の考えをもって授業に取り組めるようする。		
	なつかよくなく心	1 思いやりのある言動や相手の立場に立って考えることについて、授業内外で繰り返し伝えることで、自他ともに大切にできるようする。 2 授業のなかで、児童が意見を交流する場を設け、他者の意見や考えに耳を傾けられるようする。 3 当番活動や係活動に責任を持って取り組めるよう声掛けをし、学級の一員としての自覚を持てるようする。		
	元気よくな健	1 いつでも・どこでも・だれにでも、進んであいさつ・返事ができるよう日常指導を行う。 2 休み時間や体育の時間において、十分な運動量を確保し、児童の体力保持増進を図る。 3 生活科等で野菜の栽培することで「食」に対する興味関心を高める。また、給食を通して、個に応じてバランスよく食べることができるよう指導する。 4 掃除の意義や仕方を児童と考えることで、もくもくそうじを時間いっぱい、協力してできるようする。		
	郷土愛	1 生活科等で地域のことについて調べる活動を通して、地域のよさに気づき、地域を大切にする心を育む。 2 生活科等で地域の方と一緒に交流する機会を大切にし、支えていただいていることに感謝する気持ちを育む。		
	特別支援教育	1 ICT機器を有効活用し、伝えることを視覚化、焦点化する。 2 学校アンケートや教育相談等により、児童の実態をしっかりと把握することや、思いに耳を傾け寄り添うことで安心して生活できるようする。 3 支援員と協力することで、児童の実態に応じた個別指導ができるようする。		

学期評価 (達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成)